

作ってみよう古文単語テスト

三年 組 番 ()

担当語句

基本的な意味①

②

③

①例文〈口語〉

〈文語〉

②例文〈口語〉

〈文語〉

③例文〈口語〉

〈文語〉

作ってみよう古文単語テスト グループ学習

○グループでメンバーの作った例文を検討し、以下の項目についてチェックしよう。例文としてテストに用いるには不十分である場合は、互いにアイデアを出し合ってより良い例文に仕上げていこう。

〈チェックポイント〉

- ① 古文単語の意味を正確に理解して例文が作られているか。
- ② 多くの意味をもつ単語の場合、それぞれの文の文脈からどの意味で訳せばよいかの判断がつくかどうか。
- ③ 文語文法を正確に使うことができるかどうか。

☆チェックポイント①～③について、それぞれのプリントを全員で検討し、手直しが必要と考えられた場合、手直しを鉛筆でプリントに直接記入していこう。二つ以上の案が考えられる場合は、全ての案を同様に記入しておこう。

☆文意を考慮しつつ傍線部の意味を口語で答えよ。

- ①おじやる丸なる童、いとやむごとなし。()
- ②男、このめやすき女を得てしがなと思ふ。()
- ③富士の高嶺そびゆるさま、いとめでたし。()
- ④六月、我が子の結婚式をもてなしたり。()
- ⑤いと美しき花ありければ、やすらひたり。()
- ⑥こを見らるること、いとびんなし。見ることなかれ。()
- ⑦人に車をまうけさせ、出づ。()
- ⑧雪、まめやかに降り積もりたり。()
- ⑨そらごと、いとまざなし。()
- ⑩そのかみ、菅公、めでたくまつりごちたり。()

☆文意を考慮しつつ傍線部の意味を口語で答えよ。

- ① バレリーナ、らうたげに舞ふ。()
- ② わが行く末を思ひてわづらふ。()
- ③ 石原さとみのときめきたること限りなし。()
- ④ 「夢遊病」なる病にやありけん、眠りつつあくがること 度重なりにけり。()
- ⑤ 地理のテストはあからさまに終はりたり。()
- ⑥ 妹のみめでられ、あいなし。()
- ⑦ 帝、朝餉をきこしめしたり。()
- ⑧ 「此度の試験、我汝に勝てり。」
「汝のさ言ふこと、いとこころづきなし。」()
- ⑨ 壇密はみなのこころにくしと思ふ者なり。()
- ⑩ 朝、昼、夕の餉、いとこころもとなし。()

☆文意を考慮しつつ傍線部の意味を口語で答えよ。

- ①「アナと雪の女王」をあいなしと言ふ者、いとむくつけし。()
- ②腹むげに空きたり。昼休みには間あれど、いで、弁当食はむ。()
- ③むげにののしる者こそめざましけれ。()
- ④かくのごときは、我とはすずろなることなり。()
- ⑤その御衣、大納言につきづきし。()
- ⑥我ら飢ゑつかれてずちなし。()
- ⑦はかなきことを語り合ひて楽しむが恋人と言ふものぞ。()
- ⑧目上なる人に挨拶せぬはなめげなり。()
- ⑨なべてのことをねんごろに行ふ。()
- ⑩はなはだ憂けれども念じて笑みたり。()

☆文意を考慮しつつ傍線部の意味を口語で答えよ。

- ① 清らなる人の、食ふわざの見苦しきはいとわびし。()
- ② 学問にて東大生に負くるはわりなし。()
- ③ 「君の言ふこと、いとこがまし。去るべし。」()
- ④ 宿題のたまりたる、こは深きゆゑあればなり。()
- ⑤ 「いざたまへ」と皆に言へどもさをさ来ず。()
- ⑥ Aska 挿へられしより CHAG&ASKA 見ゆるはめたらし。()
- ⑦ センスなきギャグあぢきなし。()
- ⑧ 登園するを嫌がりし子を、あながちに連れ行く。()
- ⑨ シンデレラあまりにいとほし。()
- ⑩ 雨あやにくにも降りにけり。()

☆文意を考慮しつつ傍線部の意味を口語で答えよ。

- ① あまたの花のうちに、とりわけはかばかしきものあり。 ()
- ② 友の名を忘れ、いとはしたなし。 ()
- ③ 夜も遅くなりぬれば、やをら家に入りぬ。 ()
- ④ しどけなき髪、いとおもしろし。 ()
- ⑤ 芝居に感じ入りてしほたる。 ()
- ⑥ 夏の暑き最中、クーラーならで扇にて涼むもいとすきずきし。 ()
- ⑦ 彼の者、契り置きし時に遅れたり。あだなり。 ()
- ⑧ なかなかなる知識で虫を食ふべからず。 ()
- ⑨ こは、なでふ悪行かしたる。 ()
- ⑩ ノーベル賞を取りしより見るに、彼の人の才はなのめなり。 ()

☆文意を考慮しつつ傍線部の意味を口語で答えよ。

- ① 前栽の傍らにて遊びたる女の童、いとかなし。 ()
- ② 夜の海は神のいますと聞く。いとかしこし。 ()
- ③ 今の世の親、子にかしづくことかぎりなし。 ()
- ④ 我、かの姫君と長年かたらひたり。 ()
- ⑤ 人の集まりたるところにて転ぶはかたはらいたきことなり。 ()
- ⑥ 花をば見もせで家に籠りをるはいとかたくななり。 ()
- ⑦ 児のいはけなく遊ぶさまいとうつくし。 ()
- ⑧ 高校生になりて皆およすけき。 ()
- ⑨ 喧嘩に敗れいといぶせく思ひたり。 ()
- ⑩ 先のテストにて一の位を占めたる、君の才いとおほろけなり。 ()

☆文意を考慮しつつ傍線部の意味を口語で答えよ。

- ① いと病づきたれど、なかなかなまめかしきやうなり。 (
- ② いとまばゆき容貌なり。 (
- ③ ライバル会社の動きをまもりたり。 (
- ④ 夜、みそかに家に入る。 (
- ⑤ 近所づきあひはいとむつかしきものなり。 (
- ⑥ 学級委員の仕事をはづかしきまでに務めたり。 (
- ⑦ 教室の、掲示物の一枚だにあらざるはいとすさまじ。 (
- ⑧ そのかみを思ひやりつつ、いと興ある歌を詠めり。 (
- ⑨ かの御方は世にののしりたる人なり。 (
- ⑩ 富士山、日にいとほひてあてやかなり。 (

☆文意を考慮しつつ傍線部の意味を口語で答えよ。

- ① 親わづらひて、うしろめたし。 ()
- ② このうたてき世に居るやうやはある。 ()
- ③ TOKIOの城島茂なる、ギタリスト内にもゆゆしき手の者なりといふ。 ()
- ④ その女子、いとらうらうじきさまなりと聞き、いかでかあはむとす。 ()
- ⑤ 駿河をわたりて伊豆に至る。 ()
- ⑥ この店常に人多くところせし。 ()
- ⑦ 生活を憂しと思ひ、往にける兄をとぶらひ歩く。 ()
- ⑧ 数学の難きこと、さらなり。 ()
- ⑨ 友の訪ね来るを聞きて部屋をしたたむ。 ()

☆文意を考慮しつつ傍線部の意味を口語で答えよ。

- ① おじやる丸なる童、いとやむごとなし。 () 高貴だ ()
- ② 男、このめやすき女を得てしがなと思ふ。 () 見て感じが良い ()
- ③ 富士の高嶺そびゆるさま、いとめでたし。 () すばらしい ()
- ④ 六月、我が子の結婚式をもてなしたり。 () とり行う ()
- ⑤ いと美しき花ありければ、やすらひたり。 () 足を止める ()
- ⑥ こを見らるること、いとびんなし。 見ることなかれ。 () 不都合だ ()
- ⑦ 人に車をまうけさせ、出づ。 () 準備する ()
- ⑧ 雪、まめやかに降り積もりたり。 () 本格的に ()
- ⑨ そらごと、いとまさなし。 () よくない ()
- ⑩ そのかみ、菅公、めでたくまつりごちたり。 () 政治を行う ()

☆文意を考慮しつつ傍線部の意味を口語で答えよ。

- ① バレリーナ、らうたげに舞ふ。() 可憐に ()
- ② わが行く末を思ひてわづらふ。() 思い悩む ()
- ③ 石原さとみのときめきたること限りなし。(時流に乗って栄える ()
- ④ 「夢遊病」なる病にやありけん、眠りつつあくがること 度重なりにけり。() さまよい出る ()
- ⑤ 地理のテストはあからさまに終はりたり。(ほんの少しの間で ()
- ⑥ 妹のみめでられ、あいなし。(おもしろくない ()
- ⑦ 帝、朝餉をきこしめしたり。(召し上がる ()
- ⑧ 「此度の試験、我汝に勝てり。
「汝のさ言ふこと、いとこころづきなし。」(気に食わない ()
- ⑨ 壇密はみなのかころにくしと思ふ者なり。(心惹かれる ()
- ⑩ 朝、昼、夕の餉、いとこころもとなし。(待ち遠しい ()

☆文意を考慮しつつ傍線部の意味を口語で答えよ。

- ① 「アナと雪の女王」をあいなしと言ふ者、いとむくつけし。() 無風流だ ()
- ② 腹むげに空きたり。昼休みには間あれど、いで、弁当食はむ。() むやみに ()
- ③ むげにののしる者こそめざましけれ。() 気に入らない ()
- ④ かくのごときは、我とはすずろなることなり。() 無関係な ()
- ⑤ その御衣、大納言につきづきし。() 似つかわしい ()
- ⑥ 我ら飢ゑつかれてずちなし。() どうしようもない ()
- ⑦ はかなきことを語り合ひて楽しむが恋人と言ふものぞ。() とりとめがない ()
- ⑧ 目上なる人に挨拶せぬはなめげなり。() 失礼だ ()
- ⑨ なべてのことをねんごろに行ふ。() 丁寧に ()
- ⑩ はなはだ憂けれども念じて笑みたり。() 我慢して ()

☆文意を考慮しつつ傍線部の意味を口語で答えよ。

- ① 清らなる人の、食ふわざの見苦しきはいとわびし。 () 興ざめた
- ② 学問にて東大生に負くるはわりなし。 () 仕方がない
- ③ 「君の言ふこと、いとこがまし。去るべし。」 () ばからしい
- ④ 宿題のたまりたる、こは深きゆゑあればなり。 () 理由
- ⑤ 「いざたまへ」と皆に言へどもさをさ来ず。 () ほとんど
- ⑥ Aska 挿へられしやり CHAGGE&ASKA 見ゆるはめたらし。 () 惜しい
- ⑦ センスなきギャグあぢきなし。 () どうしようもない・不快である
- ⑧ 登園するを嫌がりし子を、あながちに連れ行く。 () 無理矢理に
- ⑨ シンデレラあまりにいとほし。 () かわいそうだ
- ⑩ 雨あやにくにも降りにけり。 () あいにくに

☆文意を考慮しつつ傍線部の意味を口語で答えよ。

- ⑪ あまたの花のうちに、とりわけはかばかしきものあり。 (際立っている)
- ⑫ 友の名を忘れ、いとはしたなし。 (きまり悪い)
- ⑬ 夜も遅くなりぬれば、やをら家に入りぬ。 (そっと)
- ⑭ しどけなき髪、いとおもしろし。 (無造作だ)
- ⑮ 芝居に感じ入りてしほたる。 (涙を流す)
- ⑯ 夏の暑き最中、クーラーならで扇にて涼むもいとすきずきし。 (風流だ)
- ⑰ 彼の者、契り置きし時に遅れたり。あだなり。 (いい加減だ)
- ⑱ なかなかなる知識で虫を食ふべからず。 (中途半端な)
- ⑲ こは、なでふ悪行かしたる。 (なんとという)
- ⑳ ノーベル賞を取りしより見るに、彼の人の才はなのめなり。 (並々でない)

☆文意を考慮しつつ傍線部の意味を口語で答えよ。

- ① 前栽の傍らにて遊びたる女の童、いとかなし。() 可愛い
- ② 夜の海は神のいますと聞く。いとかしこし。() 恐れ多い
- ③ 今の世の親、子にかしづくことかぎりなし。() 大切に守り育てる
- ④ 我、かの姫君と長年かたらひたり。() 親しく交際する
- ⑤ 人の集まりたるところにて転ぶはかたはらいたきことなり。() みつともない
- ⑥ 花をば見もせで家に籠りをるはいとかたくななり。() 無風流だ
- ⑦ 児のいはけなく遊ぶさまいとうつくし。() あどけなく
- ⑧ 高校生になりて皆およすけき。() 大人びる
- ⑨ 喧嘩に敗れいといぶせく思ひたり。() 心が晴れない
- ⑩ 先のテストにて一の位を占めたる、君の才いとおほろけなり。() 並一通りでない

☆文意を考慮しつつ傍線部の意味を口語で答えよ。

- ⑪ いと病づきたれど、なかなかなまめかしきやうなり。 (優美だ)
- ⑫ いとまばゆき容貌なり。 (まぶしいほどに美しい)
- ⑬ ライバル会社の動きをまもりたり。 (うかがう)
- ⑭ 夜、みそかに家に入る。 (ひそかに)
- ⑮ 近所づきあひはいとむつかしきものなり。 (うつとうしい)
- ⑯ 学級委員の仕事をはづかしきまでに務めたり。 (立派だ)
- ⑰ 教室の、掲示物の一枚だにあらざるはいとすさまじ。 (殺風景だ)
- ⑱ そのかみを思ひやりつつ、いと興ある歌を詠めり。 (昔)
- ⑲ かの御方は世にののしりたる人なり。 (評判になっている)
- ⑳ 富士山、日にいとほひてあてやかなり。 (照り映える)

☆文意を考慮しつつ傍線部の意味を口語で答えよ。

- ⑩ 親わづらひて、うしろめたし。 () 気がかりだ ()
- ⑪ このうたてき世に居るやうやはある。 () おもしろくない ()
- ⑫ TOKIOの城島茂なる、ギタリスト内にもゆゆしき手の者なりといふ。 () 素晴らしい ()
- ⑬ その女子、いとらうらうじきさまなりと聞き、いかでかあはむとす。 () かわいらしい ()
- ⑭ 駿河をわたりて伊豆に至る。 () 通過して ()
- ⑮ この店常に人多くところせし。 () いっぱいだ・狭い ()
- ⑯ 生活を憂しと思ひ、往にける兄をとぶらひ歩く。 () 探し求める ()
- ⑰ 数学の難きこと、さらなり。 () 言うまでもない ()
- ⑱ 友が訪ね来と聞きて部屋をしたたむ。 () 整理する・準備する ()